

(別紙) 自動示差走査熱量計 一式 仕様書

納入機種については、以下の仕様（基準）をすべて満たすものとする。また、仕様（基準）を上回る機器・付属品の構成で入札しても差し支えない。ただし、総合評価はしない。

・ 本体

- (1) 測定温度範囲：-140℃～600℃（液化窒素使用時）
- (2) DSC 方式：熱流束方式であること。
- (3) 熱流量検出範囲：±150mW 以上であること。
- (4) 熱流量ノイズ：0.5μW 以下であること。
- (5) 雰囲気：空気及び不活性ガスが使用できること。
- (6) 本体設置幅：320mm 以下であること。
- (7) 試料部温度検出器：クロメル－アルメル
熱流量検出 クロメル－コンスタンタン（示差接続）
加熱炉温度検出 クロメル－アルメル
- (8) 室温以下の測定：液化窒素用冷却槽を内蔵し、オプション部品無しで可能であること。
- (9) CSV、ER/ES、PIC/S 対応：可能であること。
- (10) センサ部単体交換：実分析時の分解を伴う反応などのトラブルにより検出器を交換する際、検出器単体での交換が可能であること。

・ データ処理部

- (1) 温度制御：PID 方式であること。
- (2) 温度プログラム形式：（等速昇・降温＋等温保持）×99 段以上であること。
- (3) プログラム速度：±0.1～±99.9℃/min または℃/hour 以上であること。
- (4) 等温保持時間：0～999min または hour および無限大で可能であること。
- (5) 分析用 PC への接続：自動接続、自動遮断可能であること。
- (6) データ保護機能：測定中の装置電源遮断時は、遮断直前時までのデー

タを保存できること。PC 電源遮断時は、一時ファイルにてデータを保存できること。

- 分析用 PC

- (1) コンピュータ OS : 日本語 Windows7 Professional (32bit) 以上であること。
- (2) CPU : クロック周波数 Corei5-3470 (3.20GHz) 以上であること。
- (3) RAM : 2GB 以上であること。
- (4) ハードディスク容量 : 500GB 以上であること。
- (5) ディスプレイ : 液晶 17 インチ以上であること。
- (6) プリンター : A4 サイズ対応カラーインクジェットプリンタであること。
- (7) ソフトウェア : オンラインヘルプも含め、完全日本語対応であること。

- 生物資源開発研究センター 2 階 機器室 1 への搬入・据え付けおよび調整作業を含む。